

(別冊 1)

令和 7 年度  
事業報告書

社会福祉  
法人 松山市社会福祉協議会

# も く じ

【はじめに】	1
--------	---

## 【社会福祉事業】

### 1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

### 2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業	4
[ 新規 ] (3) 重層の支援体制整備事業	5
(4) ボランティアセンター運営事業	5
(5) 社協会員加入促進事業	7
(6) まごころ銀行運営事業	7
(7) 遺贈等寄付金受入事業	7

### 3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業	
①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	8
②災害見舞金支給事業	8

#### (2) 地区社協育成事業

①共同募金地区社協配分事業	8
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8
[ 新規 ] ③地区社協特別助成事業	9

#### (3) 地域福祉活動啓発事業

①広報啓発事業	9
②若草福祉まつり開催事業	10
③認知症理解啓発事業	10
④懐かしの名画劇場開催事業	10
[ 新規 ] ⑤公用車輛整備事業	10

#### (4) 地域交流支援事業

①地域交流サロン等活動支援事業	11
②道後温泉浴衣活用事業	11
③福祉団体助成事業	11
④子育て応援プロジェクト事業	12
⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業	12
⑥北条いきいき講座事業	12

- (5) 見守り支援事業
  - ①安心カードみまもり支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
  - ②認知症高齢者SOSネットワーク事業・・・・・・・・・・・・・・・・12
  - ③まつやま支えあいフードバンク事業・・・・・・・・・・・・・・・・13

#### 4 相談支援事業

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- (2) 障がい者総合相談窓口事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (3) 福祉サービス利用援助事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- (4) 福祉資金貸付事業
  - ①生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
  - ②緊急小口資金等特例貸付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- (5) 聴覚総合支援事業
  - ①聴覚総合相談事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
  - ②手話通訳者設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
  - ③意思疎通支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
  - ④意思疎通支援者養成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
  - ⑤聴覚障がい者等生活訓練事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

#### 5 老人福祉センター事業

- (1) 老人福祉センター管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

### 【公益事業】

#### 1 センター管理・運営事業

- (1) 総合福祉センター管理・運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- (2) 地域福祉支援システム管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- (3) 北条社会福祉センター管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- (4) いきがい交流センターしみず管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- (5) 活動拠点整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

#### 2 地域生活支援事業

- (1) 高齢者等支援事業
  - ①愛の一声訪問事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
  - ②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
  - ③かぎ預かり緊急時対応事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
- (2) 介護予防促進事業
  - ①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
  - ②松山健康づくり体操教室事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

### 3 調査・評価支援事業

#### (1) 要介護認定等訪問調査事業

①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

#### (2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

②自立支援型ケアマネジメント推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

③介護サービス相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

### 4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

(2) 中核機関整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

(3) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

### 5 広報啓発事業

#### (1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

②ボランティア養成講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

## 【はじめに】

人口減少や少子高齢化が加速し、単身世帯の増加に伴う社会的孤立が深刻な課題となり、住民を取り巻く環境が大きく変化する中、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく生きがいを持って暮らし続けることができる「地域共生社会」の実現に向け、包括的な支援体制の確立が求められています。

こうした中、松山市社会福祉協議会では、令和6年度に策定した「第5期地域福祉活動推進計画（このまちのえがおプラン）」の2年目を迎え、「みんなが参加し つながり支えあう 共生のまちづくり」の基本理念のもと、地域福祉のさらなる充実を目指し、地域福祉活動の要である地区社協・地区民協活動への支援を強化するとともに、松山市や医療・福祉分野の関係機関、民間企業等との連携・協働の推進に努めました。

また、松山市から新たに受託した重層的支援体制整備事業の実施にあたり、既存の相談支援や地域づくり支援に加え、参加支援を一体的に展開することで、制度の狭間にある課題や複雑化したニーズに対する包括的なサポート体制の構築を図るなど、本会の特性である公平性・中立性・民間性を最大限に発揮しながら、社会福祉協議会への理解促進と使命である地域福祉推進の一層の充実に取り組みました。

## 【社会福祉事業】

### 1 法人運営事業

#### (1) 社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成をはじめ、職員からの新規事業提案を募集するなど、職員の企画立案能力や意識向上を図った。また、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進を図るとともに、関係する規程等の変更を行い、労働環境整備等に努めた。

ア. 理事会の開催（現員数：理事13名・監事2名）

開催日	議案	出席者数
令和7年6月5日	令和6年度事業報告について 令和6年度収支決算について 旅費規程の一部改正について 評議員選任・解任委員会外部委員の選任について 評議員選任候補者の推薦について 令和7年第2回評議員会の開催について	理事 12名 監事 2名
令和7年6月26日	会長・副会長及び常務理事の選定について 名誉会長の委嘱について	理事 9名 監事 2名
令和8年1月5日 (書面決議)	給与規程の一部改正について	理事 13名 監事 2名
令和8年3月12日	令和7年度資金収支補正予算について 令和8年度事業計画について 令和8年度資金収支予算について 定款の一部変更について 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 嘱託職員給与規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 経理規程の一部改正について 評議員選任・解任委員会の運営に関する規程の一部改正について 役員等賠償責任保険契約について 評議員選任候補者の推薦について 令和8年第1回評議員会の開催について	理事 12名 監事 2名

イ. 評議員会の開催（現員数：評議員 21 名）

開催日	議案	出席者数
令和 7 年 6 月 26 日	令和 6 年度事業報告について 令和 6 年度収支決算について 役員の選任について	評議員 18 名 理事 2 名 監事 2 名
令和 8 年 3 月 26 日	令和 7 年度資金収支補正予算について 令和 8 年度事業計画について 令和 8 年度資金収支予算について 定款の一部変更について 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 役員の選任について	評議員 20 名 理事 2 名 監事 2 名

ウ. 評議員選任・解任委員会の開催（定数：6 名）

開催日	議案	出席者数
令和 7 年 6 月 13 日	評議員の選任（21 名）について	6 名
令和 8 年 3 月 13 日 （書面決議）	評議員の選任（6 名）について	6 名

エ. 実習生の受入等

実習種別	実習内容	学校数	人数	合計
社会福祉士	相談援助実習や臨地実習等	3 校	6 名	5 校：44 名  (目標 7 校：60 名)
臨地実習	ふれあい・いきいきサロン活動等の現場実習	1 校	34 名	
地域看護実習	八坂・東雲・清水・味酒地区での現場実習	1 校	4 名	

(2) パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

各種事業を効率的に実施するため、整備されたパソコン等の情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、安全な運用管理及びセキュリティ対策の強化に努めた。

設置状況	台数	設置場所
社協 LAN	111 台	本所 外 8 ヶ所
訪問調査業務	42 台	本所 外 3 ヶ所

(3) 小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により償還促進に努めた。

資金名称	徴収可能債権	償還件数(実人数)	償還金額
低所得者小口資金	9 件 (130,000 円)	0 件(0 名)	0 円
母子家庭等小口資金	1 件 (100,000 円)	0 件(0 名)	0 円
合計	10 件 (230,000 円)	0 件(0 名)	0 円

※令和 7 年度、低所得者小口資金・母子家庭等小口資金の償還完了者はおりません。

## 2 地域福祉活動支援事業

### (1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。また、地区別の協力会員研修等の開催を積極的に支援し、協力会員への意識の醸成を図るとともに、地域関係団体等へチラシ配布を行うなど、新たな協力会員の確保に努めた。

#### ア. 会員数・活動状況等

##### ・協力会員数

男	女	合計
333 名	1,515 名	1,848 名

##### ・活動状況

延べ派遣回数	延べ派遣時間数	延べ預託点数	概要
5,369 回	9,522 時間	19,044 点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

#### イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	概要
福祉学習事業助成	40 地区	2,790,000 円	80,000 円を限度に助成 (延べ実施回数 109 回)
活動計画策定助成	4 地区	40,000 円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000 円を限度に助成
地区社協 チャレンジ事業	5 地区	350,000 円	開始から 3 年目まで 100,000 円 その後 3 年間 50,000 円を上限に助成 *ただし、総事業費の 1/2 を限度

#### ウ. 地区別活動状況及び経理状況調査の実施

項目	概要
実施地区	40 地区社会福祉協議会（市内全地区）
調査期間	令和 7 年 4 月 ～ 6 月
内 容	会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

#### エ. 地区社協だよりの発行

項目	概要
実施地区	37 地区 / 40 地区中
発行回数	60 回
内 容	地区内各世帯への配布による地区社協活動等の周知・啓発（年 1 ～ 4 回発行）

## (2) 生活支援体制整備事業

【市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため生活支援コーディネーターを配置し、地域のニーズや地域資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチング等の推進に努めた。

また、住民の地域活動にスポットを当てた「地域のお宝発表会 in まつやま」を開催し、地域の取り組みを関係者間で共有するなど、新たな社会資源の創設や事業の拡充に努めた。

## ア. 関係機関とのネットワーク構築

項目	概要	実施回数等
第1層協議体 (市全域)	研修会：地域のお宝発表会 in まつやま (第1層協議体として開催) 開催日：令和8年1月28日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室	1回(目標1回) 参加者数：280名
第2層A協議体 (9ブロック)	研修会：地区社会福祉協議会連絡会ブロック 会議及びブロック研修会 (第2層A協議体として開催)	27回 (目標9ブロック×1回) 参加者数：延べ485名
第2層B協議体 (40地区)	座談会：暮らし支え合う井戸端トーク	86回 40地区/40地区中 (目標40地区×2回) 参加者数：延べ845名

## イ. 地域資源の把握

項目	概要
地域のニーズと地域資源の把握	地区社協等、地域内の関係機関・団体と連携、協働し、協議体を活用しながら地域課題や取り組み等を共有
情報の整理及び見える化 (SNSの活用)	「へこまんくんといく！」 生活支援コーディネーターによる地域活動の取材及び SNS(Facebook等)を活用した啓発(59件・その他47件)

## ウ. 地域支援体制の構築

項目	概要
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため地区社協が主催する協力会員研修会等で事業の周知啓発

## エ. 担い手の養成

項目	概要	参加者数
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	講座名：地域福祉リーダー養成講座 開催日：令和7年11月14日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室	59名(目標80名)
	講座名：地域つながりサポーター養成講座 開催日：①令和7年7月31日 ②令和7年10月3日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室	①26名(目標20名) ②14名(目標20名)

(3) 重層的支援体制整備事業【新規事業】

【市受託事業】

関係機関や生活支援体制整備事業と連携し、地域生活課題を抱える地域住民であって、社会生活を円滑に営む上で困難を有する方を対象に、活動機会の提供や助言、情報提供等に取り組むとともに、既存の社会資源の活用や新たな社会資源の開拓等を行うなど、地域社会での「つながりづくり」や「社会参加」に向けたコーディネート支援に努めた。

項目	概要	参加支援事業利用の 相談受付件数
各支援機関との連携及び地域からの情報収集	各種会議への参加や支援関係者から広く情報を収集し、支援ニーズを抱える者の発見、把握	43件（目標36件）
支援対象者及びその世帯のアセスメント	支援対象者の生活歴等を総合的に判断し、必要な支援策や効果的な支援方針を検討し、生活課題等の必要な情報の把握	
プランの作成及び評価	支援対象者の社会参加に向けた支援方針、支援内容、支援対象者の達成目標等を盛り込んだプランの作成及び評価	
社会参加に向けた支援の実施	作成したプランに基づき、社会参加の機会の提供や確保、マッチング	

(4) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティア活動の推進および振興・拡大に向け、コーディネート機能の充実を図るとともに、ボランティア活動への参加を促進するため、小中学校等における福祉体験学習の実施や収集ボランティア活動を積極的に推進したほか、ボランティア団体・関係機関等との連携及び協働に努めた。

また、南海トラフ地震等、自然災害の発生が懸念されていることを踏まえ、市民の防災意識の高まりを背景に、災害時における地域の支え合い体制を強化するため、災害ボランティア研修を開催した。

ア. 運営

項目	概要
運営及び事業助成等	ア. ボランティアグループ等の育成・運営支援 イ. ボランティアグループ・企業等との連携・ネットワークづくり ウ. ボランティアコーディネート機能の充実 エ. ボランティア活動表彰等の推薦・管理 オ. ボランティア活動証明書の発行 カ. ボランティア連絡講義会への助成

イ. 登録数

項目	概要	
団体	488 団体（目標 510 団体） （新規：31 団体）	
個人	3,146 名（目標 3,200 名） （新規：54 名）	
災害支援 活動登録	個人	372 名
	企業団体	81 団体
	協定	1 校（大学）・11 社（企業等）

ウ. 福祉体験学習

項目	学校数等	延べ件数	延べ参加者数	概要
小学校	45校	151件	7,672名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学習等 （目標 70団体/130件 10,000名）
中学校	10校	29件	1,090名	
その他	11団体	24件	767名	
合計	55校・11団体	204件	9,529名	

エ. 各関係機関のボランティア関係事業協力等

関係機関・団体が実施する各種イベントにボランティア及び職員を派遣することにより、円滑な事業運営に努めた。

主催団体	参加回数
まつやま NPO サポートセンター運営協議会外 30 団体	59 回（目標 20 回）

オ. 情報提供・広報啓発

項目	概要	
「おせったい通信」の発行	発行回数	12 回
	発行部数	2,500 部
	設置場所	市関係施設・県関係施設・銀行・福祉関係施設等
ボランティアセンター公式 LINE	登録者数	1,596 名（目標 1,100 名）
	配信回数	36 回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	889 施設（目標 1,000 施設）
ホームページ	アクセス数	4,405 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	7 件

カ. 研修会・講座等の開催

講座名	概要	参加者数
傾聴 ボランティア 養成講座	開催回数：4回（令和7年6月12日～7月3日） 会場：市総合福祉センター 1階大会議室 講師：米子 香苗氏（株式会社 Para ti 取締役）	36名 （目標 30名）
災害 ボランティア 研修	開催回数：1回（令和8年3月1日） 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 内容：講演及びワークショップ 「市民が参加する災害ボランティアセンターの運営」 講師：李 仁鉄氏（NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長）	36名 （目標 50名）
はじめての ボランティア 講座	開催回数：3回（令和7年7月12日～令和8年1月24日） 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 ほか 内容：ボランティアについて、車いす体験、 救急法体験・朗読ボランティア体験 講師：高橋 愛実氏・浅沼 裕子氏（CIL 星空） 平野 昇氏（日本赤十字社愛媛県支部事業推進課長） 田村 啓子氏（朗読奉仕こまどり会）	延べ 49名 （目標 60名）

キ. 今治市林野火災支援活動

項目	概要
街頭募金	日時：令和7年4月4日 16時30分～18時 場所：いよてつ高島屋前 参加者：市社協職員・県社協職員・ボランティア 58名 金額：150,002円

(5) 社協会員加入促進事業

【自主事業】

社協だよりや各種事業等を通じて市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため、継続加入並びに新規会員加入の拡大に努めた。

ア. 加入状況

会員種別	会員数	口数	金額	目標	
個人会員 (個人)	1,608名	1,874口	1,878,000円	(3,000名)	(3,000,000円)
特別会員 (団体)	173団体	304口	1,407,000円	(500団体)	(2,500,000円)
賛助会員 (企業)	83社	88口	875,000円	(150社)	(1,500,000円)
合計	—	—	4,160,000円	—	(7,000,000円)

イ. 会員紹介状況

対象	紹介方法	会員数
全会員（希望者）	市社協ホームページ等への名称掲載	27名・72団体 ・79社
賛助会員 2口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレットコーナーの活用	1団体・27社

(6) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄附を受け入れ高齢者や障がい者の福祉サービス事業に活用するとともに、物品については寄附者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行うなど、広く社会福祉の推進及び寄附文化の醸成に努めた。

種別	目標	受入	件数	受入・払出先
金銭	4,400,000円	3,851,010円	35件	市社協
物品	—	りんご	2件	児童福祉施設4ヶ所
	—	車いす等	4件	市社協

※感謝状の贈呈（4件）

(7) 遺贈等寄付金受入事業

【自主事業】

銀行・信託銀行と締結した遺贈に関する協定書（令和4年3月締結）に基づき、松山市をはじめ各銀行等と連携を図り相続や遺贈等の相談、遺言書の管理等を支援するとともに新たな協定先との締結ならびにチラシの配布等を通じて、理解者の拡大と寄附文化の醸成に努めた。

項目	概要
協定書締結先	松山市・伊予銀行・愛媛銀行・三井住友信託銀行・愛媛信用金庫

### 3 共同募金配分金事業

#### (1) 見舞金支給事業

【自主事業】

##### ①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を支給することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握に努めた。

項目	支給者数	概要
見舞金	75名	225,000円 (3,000円 / 1名)

##### ②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を支給することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に努めた。

項目	件数	概要
住宅火災等見舞金	11件	220,000円 (20,000円 / 1世帯)
死亡弔慰金	5件	100,000円 (20,000円 / 1名)
合計	16件	320,000円

#### (2) 地区社協育成事業

【自主事業】

##### ①共同募金地区社協配分事業

各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成し、地域福祉の推進に努めた。

助成先	助成額
40 地区社会福祉協議会 (市内全地区)	32,793,974円

##### ②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、生活支援体制整備事業と連動した事業展開を通じて、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化に努めた。

##### ア. 会議等

会議名	概要	参加者数
地区社連 会長・事務 局長連絡会	開催日：令和7年4月16日 会場：市総合福祉センター 1階大会議室 内容：研修会・事務連絡等 演題：「ごちゃまぜ福祉ってなあに？」 講師：杉本 太一 氏 (社会福祉法人松山紅梅会梅本の里専務理事・施設長)	会長・ 事務局長 67名
	開催日：令和7年7月16日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 内容：研修会・事務連絡等 演題：① 生活支援体制整備事業について ② 地域福祉サービス事業 事業推進費について 講師：① 松山市福祉推進部 長寿福祉課職員 ② 松山市社会福祉協議会 地域支援課職員	会長・ 事務局長 70名

地区社連 会長・事務 局長連絡会	第 3 回	開 催 日：令和8年2月13日 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室 内 容：研修会・事務連絡等 演 題：①重層的支援体制整備事業について ②地域福祉活動計画の事例報告 講 師：①松山市福祉推進部 長寿福祉課職員 ②松山市社会福祉協議会 地域支援課職員	会長・ 事務局長 71名
ブロック 会議	開催回数：9回 会 場：市総合福祉センター 1階会議室他 内 容：ブロック研修会の日程等について		地区社協 関係者 40名

イ. 研修会

研修会名	概 要	参加者数
地域福祉 リーダー 養成講座	開 催 日：令和7年11月14日 会 場：市総合福祉センター 1階大会議室 内 容：研修会・グループワーク テ ー マ：「地域福祉サービス事業について」 ～身近な支え合いを体験しよう～ 講 師：松山市社会福祉協議会 地域支援課職員	地区社協 関係者 59名

③ 地区社協特別助成事業【新規事業】

【自主事業】

町内会加入率の低下等により、近年共同募金実績額が低下する中、共同募金配分金を活動財源とする地区社会福祉協議会の活動にも影響が及んでいるため、愛媛県共同募金会からの配分金が地区計画額を満たさなかった地区社協を対象にモデル事業として特別に助成を行い、地域福祉活動の支援に努めた。

助成先	助成額
地区計画額実績が100%未満の地区社協（7地区）	545,112円

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

①広報啓発事業

社協だよりの発行やホームページの運営、SNS（Facebook・Instagram・YouTube・LINE）を活用した広報活動等を通じて市社協事業等の紹介を行うとともに、求職者に対し、より詳しく仕事内容や先輩職員の声を紹介するため、新たに職員募集ページを開設するなど、一層の啓発に努めた。

項 目	概 要		
社協だよりの発行	年2回（約245,000部 / 1回）		
ラジオ放送	年3回（南海放送「みんなの松山」）		
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚（共同募金・日本赤十字社啓発用）		
ホームページの運営	ア. 松山市社会福祉協議会	(75,124件)	(目標 140,000件)
	イ. まつやまバリアフリーマップ	(4,461件)	(目標 8,000件)
Facebook・Instagram への掲載	市社協活動や地域行事等の紹介		
	SNS	登録者数	投稿件数
	Facebook	1,062名（新規32名）	266件
Instagram	1,226名（新規287名）	266件	

YouTubeの運営	市社協活動等の紹介およびオンライン研修会の実施 登録者数 238名（新規登録者数 19名） 投稿件数 3件
松山市社協公式LINE	市社協活動やイベント等の紹介 登録者数 457名（新規登録者数 42名） 配信回数 8回
LINEスタンプ	販売個数 155個（目標200件）

#### ②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり2025」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。（\*総合福祉センター管理・運営事業（P20）に再掲）

#### ③認知症理解啓発事業

9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、地域住民とともに、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう!」という想いを共有し、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花による「オレンジロード」を啓発することで認知症理解の拡大に努めた。

概 要	延べ参加者数
日 程：令和7年9月1日～9月30日 会 場：市総合福祉センター・市内各所 催 物：生花・写真・絵を飾り付けたオレンジロード	参加者数721名 団体協力：53団体 (目標500名)

#### ④懐かしの名画劇場開催事業

日本の名作映画を上映することにより高齢者等の社会参加、生きがいを促進するとともに優れた映画に触れることで、松山市における文化振興に努めた。

概 要	延べ参加者数
開 催 日：令和7年12月6日 会 場：市総合福祉センター 1階大会議室 上映作品：①豚と軍艦 ②情炎 ③少年 ④心中天網島	638名 (目標1,200名)

#### ⑤公用車輛整備事業【新規事業】

地域への訪問活動や地域行事の資材等運搬用として使用している公用車輛1台が老朽化したため、共同募金配分金を活用して車輛の買い替えを行い、職員等の安心・安全を確保するとともに、各業務のより一層の推進に努めた。

新車輛	旧車輛
軽自動車トラック 交付年月日 令和7年10月1日	軽自動車トラック 廃車年月日 令和7年10月22日

(4) 地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン等活動支援事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロン及び農園サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉の増進に努めた。また、各家庭でプランター菜園を行い、参加者同士が交流を図る「オンラインサロン」等、柔軟なサロン活動を展開することで介護予防や孤立予防の推進に努めた。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	概 要
15 サロン (目標 46 サロン)	526,000 円	[ 交流 ] 1 サロン : 1 開催 3,000 円 (12 回を限度) [ 農園 ] 1 サロン : 年間 40,000 円

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数	実施回数	延べ利用者数	平均利用者数
共生型サロン	2 サロン	26 回	1,386 名	53.3 名
子育てサロン	7 サロン	83 回	1,658 名	20.0 名
障がい者サロン	2 サロン	37 回	336 名	9.1 名
合 計	11 サロン	146 回	3,380 名	23.2 名
農園サロン	4 サロン			
オンラインサロン	5 サロン	5 回	37 名	7.4 名

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の製作を行い、障がい者等の就労支援や社会参加・生きがいづくりを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉のPR等に努めた。

項 目	概 要	販売数
松山トリコ製品	○おじゃみクッション ○エコバッグ ○湯玉トートバック (Lサイズ・Sサイズ) ○紙の湯カードケース (シングル・ダブル) ○湯あがりコースター ○湯あがりカバー ○湯玉サコッシュ	4 個 (目標 5 個) 65 個 (目標なし) 10 個 (目標 25 個) 47 枚 (目標 50 枚) 12 枚 (目標 100 枚) 16 枚 (目標 100 枚) 34 個 (目標 100 個)
イベントへの出店	名 称 : 愛媛FCホームゲーム 日 程 : 令和8年2月28日 会 場 : 県総合運動公園 主 催 : 株式会社 愛媛FC	

③福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動の支援に努めた。

助成団体数	助成額
10 団体 (松山市身体障害者協会等)	370,000 円

④子育て応援プロジェクト事業

参加者同士が交流を図り様々なイベントを体験してもらい子育て世帯等への支援に努めた。

概要	参加者数
開催回数：6回 会場：双葉小学校、余土公民館、市総合福祉センター、清水公民館 内容：ワークショップ、キッズシネマ、子ども服おさがり交換会	229名 (目標4回)

⑤おもちゃ図書館ひみつきち事業

子どもたちがともに遊び育ち合う場とするとともに、子育て中の親が気軽に集える場の提供に努めた。

概要	参加者数
開催回数：7回 会場：清水小学校、清水公民館、古川ふれあいセンター 余土公民館、市総合福祉センター等	539名 (目標4回)

⑥北条いきいき講座事業（旧事業名：北条文化の森いきいき講座事業）

北条圏域の地域福祉拠点である「北条社会福祉センター」を活用し、受講者の健康づくりや生きがいづくりに努めた。

概要	延べ参加者数
開催回数：5回（令和7年11月13日～令和8年1月22日） 会場：市北条社会福祉センター 2階大会議室 内容：歌って楽しくのどトレーニング、はじめての指ヨガ モルック体験会、心とカラダがほぐれる健康体操 オカリナ演奏会	110名 (目標150名)

(5) 見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実に努めた。

登録者数	活用事例
14,022名（新規：257名） （目標 13,900名）	9件（累計211件：平成23年7月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症6件、中等症3件、重症0件、死亡0件、不搬送0件

②認知症高齢者SOSネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明となった高齢者の早期発見・保護に努めた。

検索協力者登録数		利用登録数	実施件数
個人	1,823名	808名 (新規：58名/目標80名)	検索依頼 9件 メール配信 7件 (依頼累計147件：平成25年度より)
企業・団体	363団体		

### ③まつやま支えあいフードバンク事業

団体・企業等に食料品の提供協力を求めるとともに、生活困窮者等に対し緊急的に食料を提供できるよう協力体制の整備を行った。また、併せて安定的な食料品の確保ができるまでの緊急措置として状況に応じ食料品を提供することで、利用者の不安解消や生活基盤の自立に向けた支援に努めた。

項目	概要	支援件数
保管場所	市総合福祉センター等	延べ支援人数 282名 (目標 300名) 延べ支援提供数 4,758食 (目標 4,500食)
支援団体・企業 (当年度)	①株式会社パソナ ②株式会社第一ビルディング ③損保ジャパン株式会社 愛媛支店 ④有限会社プランネット ⑤福角会 ⑥特定非営利活動法人イクソス ⑦株式会社セキュリティエヒメ	
支援食料	お米・缶詰・レトルト食品・インスタント食品・水・カンパン等 ※未開封・賞味期限3箇月以上・常温保管可能・製造者表記・アレルギー表示のあるもの	

## 4 相談支援事業

### (1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援に努めた。

項目	対応件数等	概要	
新規相談受付件数 (総数)	705 件	来所、電話、訪問・同行等による相談、支援調整会議等含む	
継続相談件数	2,413 件		
延べ相談件数 (総数)	3,118 件		
支援計画 (プラン) 作成件数 (総数)	69 件	支援調整会議における支援決定者数	
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)	62 件	1つの支援計画(プラン)作成において、住居確保給付金、就労支援、生活福祉資金等の重複を含む	
法に基づく事業 等利用件数	住居確保給付金		14 件
	一時生活支援事業		1 件
	家計改善支援事業		2 件
	就労準備支援事業		0 件
	自立相談支援事業による就労支援		62 件
その他	生活福祉資金等による貸付	6 件	
	生活保護受給者等就労自立促進事業	61 件	
一般就労者数	36 名		
増収者数	1 名		

## (2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談や発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援・助言を行い課題解決に努めた。

## ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援会議	関係 機関	その他	合 計
延べ件数	250 件	1,117 件	560 件	1,515 件	106 件	60 件	5,028 件	45 件	8,681 件

※その他は障害手帳を保持していない相談者

## イ. 支援内容

	福祉サービ スの利用等	障がいや 病状の理解	健康・医療	不安の解消 ・情緒安定	保育・教育	家族関係・ 人間関係	家計・経済
延べ件数	3,467 件	104 件	1,130 件	693 件	14 件	150 件	1,202 件
	生活技術	就 労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他	合 計	
延べ件数	354 件	1,042 件	0 件	85 件	413 件	8,654 件	

## ウ. 研修会の開催

項 目	概 要	参加者数
松山市障がい者 虐待防止等研修会	開催回数：4回（令和7年7月2日・8日（2回）・ 8月7日） 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室 演 題：虐待防止の取り組みと権利擁護の組織 風土づくりについて ～虐待が疑われる事案への対応～ 講 師：鈴木 正幸 氏（愛媛県社会福祉士会）	市内障がい福祉サ ービス事業所職員 参加者数 284 名 （目標 250 名）
松山市発達障がい者 就労支援研修会	開催回数：1回（令和8年1月16日） 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室 演 題：発達障がいの者の特性を活かす職場づ くり 講 師：實島 悠氏（株式会社ゼネラルパート ナーズ 社会保険労務士） 演 題：地元企業での雇用事例と職場定着の工夫 講 師：徳永 正明 氏（ミウラジョブパートナ ー株式会社 総務部長）	一般企業の方 参加者数 37 名 （目標 250 名）
松山市障がい者 差別解消法研修会	開催回数：2回（令和7年12月9日・令和8年1月29日） 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室 演 題：こころのバリアフリー ～盲導犬と共に生きる社会へ～ 講 師：高橋 信行 氏（愛媛県立松山盲学校 教諭）	市内障がい福祉サ ービス事業所職員 参加者数 37 名 （目標 100 名）

## (3) 福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

## ア. 契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	10 件 (新規 2 件) (終了 1 件)	38 件 (新規 4 件) (終了 0 件)	51 件 (新規 8 件) (終了 5 件)	3 件 (新規 0 件) (終了 0 件)	102 件 (目標 90 件) (新規 14 件) (終了 6 件)

※ ( ) 内は、令和 7 年度新規契約及び契約終了件数

## イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延べ活動日数
7 名	659 回

## (4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援に努めた。

## ①生活福祉資金貸付事業

申請内容	相談件数	申請件数
ア. 総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	65 件	1 件 0 件 0 件
イ. 福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	656 件	12 件 7 件
ウ. 教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	340 件	35 件
エ. 不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	10 件	0 件 0 件
オ. その他 (償還猶予申請等)	32 件	32 件
カ. 臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件
合 計	1,103 件	87 件

②緊急小口資金等特例貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯を対象に、安定した生活が送れるよう経済的自立の支援を目的とし、生活困窮者自立支援事業と連携した効果的な相談支援により、相談と貸付を組合せて問題解決、生計回復や自立を目指した生活意欲の助長促進に努めた。

申請内容	相談件数
ア. 償還方法等相談	70 件
イ. 償還免除相談	41 件
ウ. 償還猶予相談	195 件
合 計	306 件

\*申請受付：令和4年9月30日終了

(5) 聴覚総合支援事業

【市受託事業】

①聴覚総合相談事業

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を図りながら総合的支援に努めた。

ア. 相談対応件数（連絡調整含む）

	来所	電話・Fax	電子メール	その他	合計
延べ件数	2,473 件	4,354 件	4,909 件	344 件	12,080 件

イ. 支援内容（連絡調整含む）（ ）内は解決に至った件数

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延べ件数	1,606 件 (1,606)	0 件 (0)	361 件 (361)	23 件 (23)	0 件 (0)	103 件 (103)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延べ件数	51 件 (51)	1,148 件 (1,148)	47 件 (47)	47 件 (47)	2 件 (2)	1,649 件 (1,649)

	登録通訳者	啓発活動	通訳者を紹介	その他	合計
延べ件数	4,563 件 (4,563)	300 件 (300)	1,837 件 (1,837)	343 件 (343)	12,080 件 (12,080)

ウ. 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

概 要	件 数
愛媛大学、松山大学 ほか	179 件

②手話通訳者設置事業

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意味疎通の支援に努めた。

内 容	身体障 害者手 帳等	補 装 具 等	日 常 生 活 用 具 等	障 害 福 祉 サ ー ビ ス	介 護 保 険	生 活 保 護	医 療 保 険	年 金 手 当	就 労	教 育	住 居	税	窓 口 手 続 証 明 等	窓 口 手 続 証 明 以 外 等	相 談	そ の 他	合 計
件 数	19 件	10 件	47 件	18 件	11 件	5 件	138 件	30 件	19 件	1 件	14 件	29 件	25 件	187 件	32 件	282 件	867 件

③意思疎通支援事業

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者の派遣に努めた。

ア. 登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

内 容	個人に対する派遣										大 会 等 派 遣	合 計
	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計		
件 数	2,779 件	2,086 件	111 件	13 件	28 件	49 件	17 件	9 件	346 件	5,438 件	90 件	5,528 件

イ. 研修会の開催

項 目	概 要	延べ参加者数
登録手話通訳者・ 要約筆記者研修会	開催回数：12回(令和7年4月7日～令和8年3月23日) 会 場：市総合福祉センター 5階中会議室ほか 内 容：意思疎通支援制度・技術実習等 (Zoom 対応有)	175名

ウ. 登録通訳者の健康診断の実施

登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施し、頸肩腕障害を予防に努めた。

項 目	概 要
受診者数	30名 (手話通訳者26名、要約筆記者0名、手話・要約筆記者4名)

#### ④意思疎通支援者養成事業

##### ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導に努めた。

講座名		開催回数	修了者数
手話通訳者養成講座	基礎フォローアップ講座	午前 40 回 ・ 夜間 40 回	午前 16 名 ・ 夜間 22 名
	手話通訳Ⅰ	午前 42 回 ・ 夜間 42 回	午前 8 名 ・ 夜間 9 名
	手話通訳Ⅱ	午前 39 回 ・ 夜間 39 回	午前 7 名 ・ 夜間 6 名
	手話通訳Ⅲ	午前 16 回 ・ 夜間 16 回	午前 6 名 ・ 夜間 2 名
要約筆記者養成講座(手書き・PC)		45 回	45 回

##### イ. 松山市全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保に努めた。

概 要	受験者数
実施日：令和8年2月15日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室	15名（内合格者5名） ※当日欠席1名

#### ⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域において生活能力を高めるなど社会参加の促進に努めた。

項 目	概 要	延べ利用者数
生活支援訪問	訪問回数：66件 内 容：制度の情報提供や生活支援 等	288名 （目標400名）
中途失聴者・難聴者の手話講座	開催回数：昼の部20回・夜の部20回 開催期間：令和7年4月15日～令和8年2月17日 内 容：手話学習と仲間づくり、くらしに関する手話、冠婚葬祭に関する手話 等	329名 （目標200名）
くらしセミナー	開催回数：10回（令和7年5月19日～令和8年3月16日） 内 容：消費生活トラブル・法律相談・だまされないために等	219名 （目標100名）

## 5 老人福祉センター事業

### (1) 老人福祉センター管理運営事業

【市受託・指定管理事業】

令和6年4月より松山市老人福祉センター・松山市鷹子老人福祉センター・松山市中村老人福祉センターの3施設の指定管理を受託し、無料又は低額な料金で、高齢者に関する各種相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって健康で明るい生活を営ませることで福祉の増進に努めた。

利用状況等	①若草	②鷹子	③中村
団体数	—	55 団体	13 団体
延べ利用者数（推計値）	11,453 名	19,209 名	5,347 名
利用者アンケート	132 名	325 名	94 名

教養講座	①若草		②鷹子		③中村	
	開催回数	修了者数	開催回数	修了者数	開催回数	修了者数
民謡	24回	11名				
絵手紙	24回	12名	24回	9名	24回	5名
社交ダンス(男)	24回	12名				
社交ダンス(女)	24回	16名				
大正琴	24回	8名				
吟詠	24回	7名				
歌謡A	24回	14名				
歌謡B	24回	18名				
カラオケ			24回	19名		
ストレッチ体操A	24回	19名	24回	15名		
ストレッチ体操B	22回	20名	24回	14名		
俳句	24回	13名	24回	6名		
茶道	23回	14名	24回	6名		
ペン習字	9回	1名	24回	9名	24回	10名
手芸			24回	5名		
ちぎり絵			4回	1名		
シニア・ヨガA			24回	9名		
シニア・ヨガB			24回	10名		
折紙			24回	8名		
陶芸A					24回	10名
陶芸B					24回	10名
ピラティス	12回	10名				
三線			24回	6名		

\*①若草 --- 老人福祉センター管理運営事業(若草)

②鷹子 --- 老人福祉センター管理運営事業(鷹子)

③中村 --- 老人福祉センター管理運営事業(中村)

## 【 公益事業 】

### 1 センター管理・運営事業

#### (1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営に努めた。

#### ア. 利用状況

延べ利用団体数	延べ利用人数	内容等
7,933 団体 (目標 8,800 団体)	139,030 名 (推計値) (目標 220,000 名)	有料利用 11 件 1,006 名 (推計値)

#### イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

項 目	概 要	参加者数
社会福祉啓発事業講演会	開催日：令和 8 年 3 月 1 日 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 演 題：地域が支える・地域を支える ～災害時の支え合い～ 講 師：李 仁鉄 氏 (NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長)	150 名 (目標 300 名)
認知症に関する講演会	開催日：令和 7 年 9 月 20 日 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 内 容：第 1 部 ドラマ「記憶の葉っぱ」上映 第 2 部 講演：「薫ちゃんの介護日和」 講師：金森 一臣 氏 (ドラマ「記憶の葉っぱ」の主人公のモデル)	227 名 (目標 250 名)
福祉センター映画鑑賞推進事業 (わかくさ映画上映会)	開催日：令和 7 年 9 月 27 日 (2 回上映) 会 場：市総合福祉センター 1 階大会議室 内 容：お終活 再春！ 人生ラブソディ	第 1 部 245 名 第 2 部 225 名 (目標 600 名)

#### ウ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2025」を開催し、イベントでのふれあい等を通じて世代間交流やコミュニケーションの促進に努めた。

開催日	令和 7 年 11 月 8 日	令和 7 年 11 月 9 日
内 容	○ボランティア体験コーナー ○余剰品販売コーナー ○お茶席 ○人権擁護相談コーナー ○要約筆記体験、携帯ホワイトボード作り ○里親カフェ ○手話体験等	○映画「それいけ！アンパンマン チャポンのヒーロー！」上映 ○マッサージコーナー ○ものづくり体験コーナー ○笑い文字作り ○点字体験 ○お楽しみ抽選会等
	○食品販売、お食事コーナー ○折り紙教室 ○おもちゃ図書館 ○朗読体験 ○各種団体による喫茶、余剰品販売コーナー等	○障がい者団体等バザー ○ふれあい・いきいきサロンコーナー ○手編み作品販売 ○段ボール迷路・駄菓子コーナー
来館者数	延 4,200 名 (推計値) (目標 4,000 名)	
参加団体	48 団体 (ボランティア・福祉団体等)	

エ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進に努めた。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD他	合 計
保 管 数	1,192 冊	103 冊	3 本	159 本	102 枚	1,559 点
貸出件数	91 件	0 件	0 件	25 件	7 件	123 件

オ. ロビー展等

市総合福祉センターロビー等の有効活用を図り、福祉に対する理解者の拡大に努めた。

概 要		実施期間等
ロビー展等	ア. 発達障がい関係団体活動紹介パネル展示	令和7年4月2日～8日
	イ. 「民生委員・児童委員の日」の活動強化週間に合わせたロビー展	令和7年5月1日～31日
	ウ. 友遊しみずパネル展	令和7年8月4日～25日
	エ. オレンジロード展示 (オレンジガーデニングプロジェクト)	令和7年9月1日～30日
	オ. 里親制度普及啓発パネル展	令和7年10月1日～17日
	カ. 人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	令和7年12月15日～19日
	キ. 防災ポスター展	令和8年1月13日～23日
募金箱の設置	ア. 令和6年能登半島地震災害義援金	令和7年4月1日～4月21日
	イ. 令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	令和7年4月1日～6月27日
	ウ. ウクライナ人道危機救援金	令和7年4月1日～8月21日
	エ. 2025年ミャンマー地震救援金	令和7年4月21日～6月27日
	オ. 第73回松山港まつり・三津浜花火大会募金	令和7年6月10日～8月1日
	カ. 令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金(鹿児島県)	令和7年7月28日～9月24日
	キ. 令和7年台風第8号に伴う災害義援金(沖縄県)	令和7年8月21日～9月24日
	ク. 令和7年8月6日からの大雨災害義援金(熊本県・鹿児島県)	令和7年8月21日～9月24日
	ケ. 令和7年台風第12号災害義援金	令和7年9月24日～11月4日
	コ. 令和7年台風第15号災害静岡県義援金	令和7年9月24日～11月4日
	サ. 2025年アフガニスタン地震救援金	令和7年9月24日～11月28日
	シ. 2025年パキスタン洪水救援金	令和7年9月24日～11月28日
	ス. 赤い羽根共同募金	令和7年10月1日～令和8年3月31日
	セ. 令和7年台風第22号及び第23号災害義援金(東京都)	令和7年11月4日～11月28日
	ソ. 令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金(大分県)	令和7年11月28日～令和8年3月17日
	タ. NHK 海外たすけあい・NHK 歳末たすけあい	令和7年11月28日～12月24日
	チ. 令和7年青森県東方沖地震義援金(青森県)	令和8年1月5日～3月17日
ツ. イラン及び周辺国人道危機救援金	令和8年3月17日～3月31日	

センターのライトアップ	ア. 世界自閉症啓発デー及び発達障害啓発週間 (ブルー)	令和7年4月2日～8日
	イ. 世界赤十字デー (レッド)	令和7年5月8日
	ウ. 健康ハートの日 (レッド)	令和7年8月10日
	エ. 世界小児がん啓発キャンペーン (ゴールド)	令和7年9月6日
	オ. 世界アルツハイマーデー (オレンジ)	令和7年9月21日
	カ. 手話言語の国際デー (ブルー)	令和7年9月23日
	キ. グリーンリボンデー ～臓器移植普及推進月間～ (グリーン)	令和7年10月16日
	ク. 世界糖尿病デー (ブルー)	令和7年11月14日
	ケ. 頭痛の日 (グリーン)	令和8年2月22日
その他	ご意見箱の常設 (1階・4階・5階)	令和7年4月1日～ (平成19年8月1日設置)

(2) 地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステムの適正な維持・管理に努めた。

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
36台	60,287名	2,085団体	1,510社

(3) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営に努めた。

延べ利用団体数	延べ利用者数
2,590件 (目標 2,500団体)	12,043名 (目標 17,000名)

(4) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び多世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に努めた。

ア. 地域交流事業

項目	対象	開催回数	延べ参加者数
友遊しみず (月・木曜日 10:00～15:00)	介護保険対象外の概ね 65歳以上の方	90回 (目標 90回)	927名 (目標 1,350名)
交流授業等	清水小学校児童等	授業 61回 (目標 40回)	4,222名
地域交流イベント	清水小学校児童・ 保護者等	1回	120名 (目標 70名)
しみずサポートボランティア の活動	高校生・大学生等	188回	411名

イ. 講座等の開催

項目	概要	延べ参加者数
シニアライフ講座	開催回数：9回（令和7年5月28日～7月23日） 会場：いきがい交流センターしみず 2階交流室1 内容：介護保険制度、成年後見制度、相続と遺言、認知症、介護者のストレスケア、終活等 9テーマ	144名 （目標180名）
終活のススメ講座	開催回数：4回（令和8年1月28日～2月25日） 会場：いきがい交流センターしみず 2階交流室1 内容：人生の振り返り、エンディングノートの活用法、終活（遺言・任意後見）、終活のリアル等	50名 （目標60名）

ウ. 視察対応

	概要	人数（団体数）
説明内容	事業概要、地区社協と小学校との協働・連携、児童と高齢者・地域住民との交流、地区民協等について	70名（5団体）

エ. 実習生の受入

実習種別	実習内容	学校数	人数
教育実習	社会教育ボランティア実習・社会教育実践活動等	4校	20名
地域連携実習	清水小交流授業・福祉体験等のボランティア活動	3校	76名

(5) 活動拠点整備事業

【自主事業】

企業及び関係団体等と連携して活動拠点の整備を図り、地域支援体制整備の強化及び要介護認定訪問調査事業における調査業務の効率化に努めた。

拠点	概要
えひめ中央農業協同組合桑原支所1階	地区関係団体等との連携強化

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週2回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消に努めた。

実利用者数	延べ訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,276名	235,642回	459名	836件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年4回の出張理容サービス（県理容生活衛生同業組合松山・古町・北支部）を実施し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減に努めた。

利用券交付者数	延べ利用者数	新規申請者数
2名	6名	1名

③かぎ預かり緊急時対応事業（かぎ預かりSOS）

【自主事業】

市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者で、市社協個人会員（1口1,000円 / 年）に加入し、本事業の利用希望者を対象に、玄関等の鍵を預かり、生命に関わる等の緊急事態時に鍵を使って家屋内に立ち入り安否確認等を行えるよう体制づくりに努めた。

登録者数	安否確認件数
29世帯（内新規登録者数6世帯）	0件

(2) 介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【市受託事業】

65歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援に努めた。また、「出前サロン」の積極的な実施や新しく始まった「緩和型サロン」の啓発に努め、地区社協と連携しながら新規サロンの立ち上げに努めた。

ア. 規模別サロン数

規 模 回 数	緩和型	小規模	中規模	大規模	基幹型	合計
月1回	51					51
月2回	20	50	40	2	0	112
月3回	1	10	9	0	0	20
週1回	20	14	17	0	0	51
週2回	2	1	0	0	1	4
週3回以上	0	0	0	0	1	1
合 計	94	75	66	2	2	239

イ. 活動状況

サロン活動登録者数（65歳以上）	4,594名
延べサロン開催回数	6,748回
延べサロン参加者数	90,120名
サロン活動登録者数（65歳以上）	(84,863名)
サロン参加者数（64歳以下）	(5,257名)

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	実施サロン数	延べ実施者数
①握力測定（体力測定） ②手がかり再生（脳トレーニング測定） *①②どちらかの測定のみも可能	通常サロン 141 緩和型サロン 95	2,757名 内訳：①②両方：1,846名 ①のみ：911名 ②のみ：0名

エ. ふれあい・いきいきサロン研修会の開催

概 要		延べ参加者数
ふれあい・いきいきサロン研修会	開催回数：3回（令和7年6月25日～7月23日） 会 場：市総合福祉センター、市北条社会福祉センター 市鷹子老人福祉センター 内 容：輪投げ大会、情報交換会等	226名

ふれあい・いきいき緩和型サロン研修会	開催回数：4回（令和7年7月30日～12月15日） 会場：市役所中島支所、市北条社会福祉センター 市総合福祉センター、市鷹子老人福祉センター 内容：ふれあい・いきいき緩和型サロンについて説明、現場でできる体操（講話・実技）、情報交換会	延べ101名
--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------

オ. 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援に努めた。

項目	回数（予定）	延べ利用者数	平均利用者数	実施内容
釣島	3回（8回）	20名	6.7名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	8回（8回）	19名	2.4名	

カ. まちなかサロン実施状況

項目	開催回数	延べサロン参加者数
通常まちなかサロン	47回	746名
筋力向上プログラム	44回	713名

キ. サロン経理調査

項目	概要
実施サロン	146サロン（市内全サロン）
調査期間	令和7年4月1日～7月31日

ク. 広報啓発等

項目	概要
ふれあい・いきいきサロン通信の発行	3回（約1,000部 サロン関係者等への送付）

ケ. 活動機材の貸出

項目	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	103種類 494個	310件
DVD等	35タイトル 97枚	14件
プロジェクター	2台	55件

コ. デジタル化推進業務

項目	サロン数等	参加者数等
タブレット教室	41サロン	延べ参加者 404名
複数サロン間オンライン交流イベント	6回	延べ147名
サロン公式LINE	配信回数 25回	登録者数 320名
介護予防情報 SNS 配信	ア. おうちでエンジョイへこまん生活 イ. てくてく日記 ウ. その他（交流会・研修等）	4回 73回 17回

サ. 通いの場・出前サロン

概 要	延べ参加者数
開催回数：9回（令和7年6月10日～令和8年3月28日） 開催地区：五明、石井西、堀江、浅海、立岩 対 象 者：サロン活動に関心のある地域住民、地区社協関係者 内 容：介護予防メニュー体験、レクリエーション、住民主体の通いの場づくりの啓発	137名

②松山健康づくり体操教室事業

【自主事業】

高齢者を対象に体操教室を実施し、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続に努めた。

概 要		延べ参加者数
若草	開催回数：80回（令和7年5月～令和8年3月） 会 場：市総合福祉センター 1階大会議室	3,971名（目標4,800名）
北条	開催回数：40回（令和7年5月～令和8年3月） 会 場：市北条社会福祉センター 2階大会議室	1,756名（目標2,400名）

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託を受け、要介護認定及び障害支援区分認定の申請者に対し、調査員による訪問面接を実施し、心身の状況や生活環境等の調査を行った。なお、障害支援区分認定調査においては、サービス利用意向の聴取も併せて実施した。また、医師意見書等の送付及び回収を行い、公正かつ適正な認定に努めた。

調査内容	申請件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	25,582件	24,067件	24,186件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業【市受託事業】	126件	121件	121件
③ 住所地特例認定訪問調査事業【他市町村等受託事業】	546件	535件	535件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,562件	1,484件	1,487件

※要介護申請数（取り下げ含む）

※申請・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となるため

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図るため事業所や介護従業者が抱える課題、実態把握等に関する調査実施するとともに、人材育成に資する研修を行うなど、介護サービスの質の向上に努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	訪問回数
介護老人保健施設	4回

小規模多機能型居宅介護	9回
短期入所生活介護	1回
地域密着型通所介護	10回
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	4回
通所リハビリテーション	6回
通所介護	33回
特定施設入居者生活介護	3回
認知症対応型共同生活介護	34回
認知症対応型通所介護	2回
介護老人福祉施設	4回
複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）	1回
訪問入浴	2回
合 計	113回

イ. 運営推進会議等への参加

会議名	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	89回

ウ. 研修の開催

概 要	参加者数
研修名：生活支援型訪問サービス従事者養成研修・介護に関する入門的研修（基礎編） 開催日：令和7年8月20日・27日 場 所：市総合福祉センター 4階ボランティア研修室 講 師：矢川 ひとみ 氏・三好 魅 氏（松山市長寿福祉課 基幹型地域包括支援センター）	6名
研修名：施設長・管理者・リーダー研修会 「介護現場におけるカスタマーハラスメント対策」 開催日：令和7年9月29日 場 所：市総合福祉センター 5階中会議室 講 師：近藤 妙 氏（特定社会保険労務士 近藤労務管理事務所）	69名
研修名：介護職員スキルアップ研修「ノーリフティングケア研修」 開催日：令和7年10月29日 場 所：市総合福祉センター 1階大会議室 講 師：米子 香苗 氏（なちゅほ愛媛 代表）・なちゅほ愛媛スタッフ	21名
研修名：介護職員スキルアップ研修「災害対応研修」 ①「能登の災害から学ぶ」（石川県輪島市よりリモート） ②「風水害時のシミュレーション研修」 開催日：令和7年11月10日 場 所：市総合福祉センター 5階中会議室 講 師：①細川 貴子 氏（青年海外協力協会 主任介護支援専門員） ②竹場 登 氏（松山市危機管理部 市民防災安全課 主幹）	受講事業所数 48ヶ所 受講確認人数 51名
研修名：介護職員スキルアップ研修「認知症ケアスキルアップ研修」 開催日：令和7年12月12日～12月18日（動画配信） 場 所：動画配信（YouTube） 講 師：和田 裕介 氏（ウエルケア重信在宅介護支援センター 介護支援専門員 認知症介護指導者）	再生回数 752回 受講事業所数 122ヶ所 受講確認人数 127名

研修名：ケアプラン研修会 開催日：①令和8年1月14日 ②2月3日 場 所：①オンライン研修（Zoom） ②市総合福祉センター 1階大会議室 演題：ケアマネジメント研修～アセスメントの重要性と実際～ 講師：白木 裕子 氏(株式会社フジケア 取締役社長)	① 41名 ② 140名
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

②自立支援型ケアマネジメント推進事業

【市受託事業】

高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を継続できるよう支援することを目的に地域包括支援センター単位で事例提供をもとに毎月検討会議を開催した。自立支援・介護予防の観点から多職種による専門的な助言およびモニタリング会議を実施し、対象者の生活上の課題解決・改善等を図るとともに、生活の質の向上に努めた。

項 目	概 要
開催回数	12回
検討委員	15名 (薬剤師、看護職（訪問看護）、リハビリの専門職、栄養士、歯科衛生士 各3名) 1回の会議につき5名が参加（各専門職から1名ずつ）
対象事例	24事例 (担当地域包括支援センター圏域内に居住する新規（6ヶ月以内）に要支援又は要介護1・2の認定を受けた者。要支援、要介護から各月1事例ずつ）
内 容 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援に向けた市民及び関係者の意識改革</li> <li>・介護保険制度の理念「尊厳の維持」「自立支援」の考え方を全体で共有</li> <li>・多職種と「ネットワークの構築」が出来る機会の創出</li> <li>・専門職及びサービス提供事業所等、参加者のスキルアップ並びにスキルの平準化</li> <li>・検討会議を通して地域に不足している社会資源を把握</li> </ul>

③介護サービス相談員派遣事業

【市受託事業】

施設等の介護サービスが提供されている場に介護サービス相談員を派遣し、利用者の日常的な不満・不満・疑問等の相談に応じるとともに、利用者の生活の観察し、サービス提供事業所におけるサービスの実態を把握した。また、問題の発見・提起および解決策の提案等を通じて苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。さらに、登録相談員に対しては、現任研修への参加や連絡会の実施を通じて、相談活動に必要な知識・技術の習得と意欲の向上に努めた。

ア. 実施状況

登録相談員	施設訪問回数	延べ派遣相談員数	相談件数
36名	10施設（107回）	184名	694件

イ. 介護サービス相談員連絡会の開催

概 要	参加者
開催日：①令和7年9月1日 ②令和8年2月20日 会 場：市総合福祉センター 4階調理実習室ほか 内 容：①「介護サービス相談員派遣事業にかかわる介護事業所の種類と特徴について」 ②「認知症の人の心の中を想像してみませんか？」	延べ19名

#### 4 権利擁護センター事業

##### (1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各種研修会の開催やパンフレットの作成・配布することで、成年後見制度の周知啓発に努めた。また、地域住民が後見等業務の新たな担い手として活動できるよう育成及び支援に努めた。

##### ア. 主な活動

項目	概要	件数等
相談支援（一般相談）	相談受付件数	142 件
成年後見制度普及啓発	各種イベント参加件数・講師派遣等件数	17 件
	パンフレット配布部数	3,707 部
成年後見制度担い手養成等	市民後見制度普及啓発件数	1 件
	市民後見人養成講座開催数	1 件

##### イ. 研修会の開催

講座名	概要	参加者数
権利擁護市民セミナー①	開催日：令和7年9月24日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 内容：成年後見斜め読み～介護保険で流れは変わった～ 講師：社会福祉士 菅野 慎二氏 (一般社団法人 愛媛県社会福祉士会) ※市民後見人養成フォローアップ研修会と同日開催	69 名 (目標 100 名)
市民後見人養成フォローアップ研修会	開催日：令和7年9月24日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 内容：銀行と保険の“もしも”の備え方 講師：伊予銀行・明治安田生命 職員 ※権利擁護市民セミナー①と同日開催	69 名 (目標 50 名) (内6名が市民後見人養成講座〈過年度開催〉修了者)
権利擁護市民セミナー②	開催日：令和7年12月4日 会場：聖カタリナ大学 北条キャンパス 内容：意思決定支援から学ぶ成年後見制度の必要性 講師：弁護士 山岸 義和氏 (かちまち法律事務所)	37 名 (目標 100 名)
成年後見制度実務者研修	開催日：令和7年10月29日 会場：市総合福祉センター 5階中会議室 内容：事例で考える！法テラスにおける成年後見制度の利用支援 講師：小村 麻子氏・砂川 辰彦氏 (法テラス愛媛)	68 名 (目標 100 名)
市民後見人養成講座【実践編】	開催日：令和7年11月27日、12月11日 開催方法：集合研修（動画視聴） 市総合福祉センター4階ボランティア研修室 内容：中核機関等の業務と市民後見活動に対するサポート体制 他 ※令和8年1月25日 集合研修（演習部門）実施（愛媛県社協主催） ※令和8年2月9日 実践編修了者初回面談実施	延 39 名

## (2) 中核機関整備事業

【市受託事業】

判断能力が十分ではない方が成年後見制度を適切に利用できるように、「成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 29 号）」に基づく中核機関として、基幹型地域包括支援センター（市長寿福祉課内）と権利擁護センター（市社会福祉協議会内）が一体となって中核機関を運営し、各関係機関及び団体と緊密に連携しながら、成年後見制度の利用促進に努めた。

## ア. 相談支援（専門相談）

概 要	件数等
延相談支援件数	128 件
相談受付件数	60 件
成年後見制度利用申立支援件数	21 件
後見等受任団体紹介件数	0 件
後見人等支援件数	0 件
専門職相談件数（成年後見制度専門職相談） 【弁護士相談：19 件、司法書士相談：27 件、行政書士相談：1 件】	47 件

## イ. 地域ネットワーク活用

項 目	概 要
成年後見制度利用支援委員会	開催回数：12 回（令和 7 年 4 月 17 日 ～ 令和 8 年 3 月 19 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階交流室 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士 内 容：市長申立対象案件における成年後見人等候補者の選定について等

## ウ. 地域ネットワーク構築に向けた取組み

項 目	概 要
成年後見制度利用促進に関する意見交換会	開催回数：3 回（令和 7 年 7 月 17 日 ～ 令和 8 年 1 月 15 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階交流室 参 加 者：弁護士、司法書士、社会福祉士、家庭裁判所 内 容：市民後見人養成について、苦情窓口について等

## (3) 法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上保護を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

## ア. 受任件数

	後 見	保 佐	補 助	合 計
件 数	17 件 (新規 3 件) (終了 1 件)	2 件 (新規 0 件) (終了 0 件)	1 件 (新規 0 件) (終了 0 件)	20 件 (新規 3 件) (終了 1 件)

## イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

法人後見支援員登録者数	延べ活動回数
2 名	81 回

## 5 広報啓発事業

### (1) 福祉啓発・人材育成事業

#### ①福祉大会開催事業

【市受託事業】

福祉関係者を対象に福祉大会を開催し、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々を表彰するとともに、関係者の相互理解と連携促進に努めた。

大会名	概要	参加者数
令和7年度 松山市福祉大会	開催日：令和7年9月4日 会場：松山市民会館 大ホール 内容：○表彰 326名・17団体 ○群読発表 発表校：済美平成中等教育学校 愛媛県立松山聾学校	1,051名 (目標1,800名)

#### ②ボランティア養成講座事業

【市受託事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進に努めた。

講座名	開催回数	修了者数
点 訳	初級 20回・中級 20回	初級6名・中級4名
手 話 (午前)	入門 20回・基礎 23回	入門19名・基礎16名
手 話 (夜間)	入門 20回・基礎 23回	入門23名・基礎17名
朗 読	初級 12回・中級 13回	初級19名・中級17名